

50019 カウンセリングⅡ（進路指導含む） Counseling II (Including Guidance for Higher Education)		3年次～ 後期 2単位			
担当者	永原 伸彦	履修可能学科	E C F		
		関連資格	教職必（E・C・F）		
サブタイトル	カウンセリングにおけるクライアントの変容				
授業内容 ・ ねらい	<p>カウンセリング関係の中で、人はどのようにして変化し、成長し、癒されていくのだろうか。また、人は自らが抱えている問題をどのように乗り越えるのだろうか。あるいはその問題とともにどのように生きていくようになるのだろうか。これらのことを、いくつかのカウンセリング事例を通して考えていきます。その際、臨床場面から生み出されてきた各種の療法や技法についても紹介します。</p> <p>また、生徒の発達段階に応じたカウンセリングのあり方や、カウンセリングを生かした進路指導、キャリアカウンセリングについても考察していきます。</p> <p>さらに、学校教育現場で起きている「不登校」をはじめとする諸問題についてカウンセリングの立場から実践的に検討し、保護者とのかわり方、保健室での支え方、学校医・カウンセラー・外部機関などの連携の在り方について考えます。</p>				
授業計画	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 1. カウンセリングにおける必要・十分条件 2. 「基礎理論」としての来談者中心療法 3. 体験過程療法とEXPスケール 4. 認知行動療法の理論と実践 5. 深層心理学的アプローチの実際 6. グループ療法の特徴 7. サポートグループの実践と展開 8. ファシリテーション技法の実践的検討 </td> <td style="vertical-align: top;"> 9. 子どもの発達段階とカウンセリング 10. 「発達障害」とカウンセリング 11. 「問題行動」とカウンセリング 12. 学校カウンセリングの特徴と実践 13. 学校カウンセリングにおける「連携」の重要性 14. 進路指導とカウンセリング 15. キャリアカウンセリングの理論と実践 </td> </tr> </table>			1. カウンセリングにおける必要・十分条件 2. 「基礎理論」としての来談者中心療法 3. 体験過程療法とEXPスケール 4. 認知行動療法の理論と実践 5. 深層心理学的アプローチの実際 6. グループ療法の特徴 7. サポートグループの実践と展開 8. ファシリテーション技法の実践的検討	9. 子どもの発達段階とカウンセリング 10. 「発達障害」とカウンセリング 11. 「問題行動」とカウンセリング 12. 学校カウンセリングの特徴と実践 13. 学校カウンセリングにおける「連携」の重要性 14. 進路指導とカウンセリング 15. キャリアカウンセリングの理論と実践
1. カウンセリングにおける必要・十分条件 2. 「基礎理論」としての来談者中心療法 3. 体験過程療法とEXPスケール 4. 認知行動療法の理論と実践 5. 深層心理学的アプローチの実際 6. グループ療法の特徴 7. サポートグループの実践と展開 8. ファシリテーション技法の実践的検討	9. 子どもの発達段階とカウンセリング 10. 「発達障害」とカウンセリング 11. 「問題行動」とカウンセリング 12. 学校カウンセリングの特徴と実践 13. 学校カウンセリングにおける「連携」の重要性 14. 進路指導とカウンセリング 15. キャリアカウンセリングの理論と実践				
教科書 参考書	その都度知らせます。				
評価方法	テスト及び平常点				
事前準備学習 履修条件等					